

経営比較分析表（令和2年度決算）

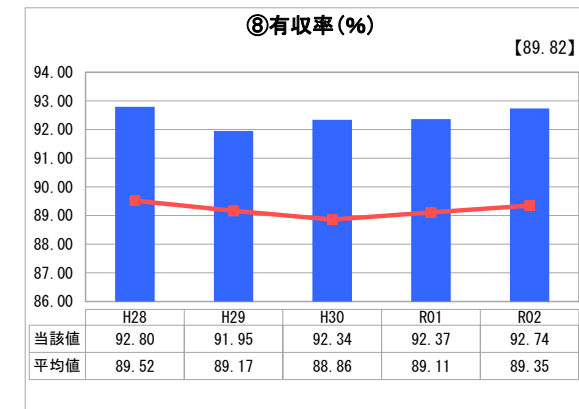
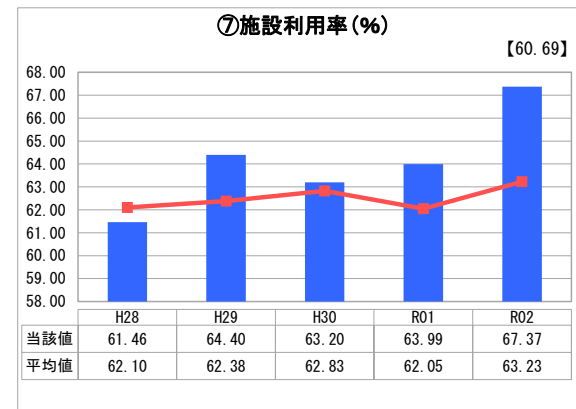
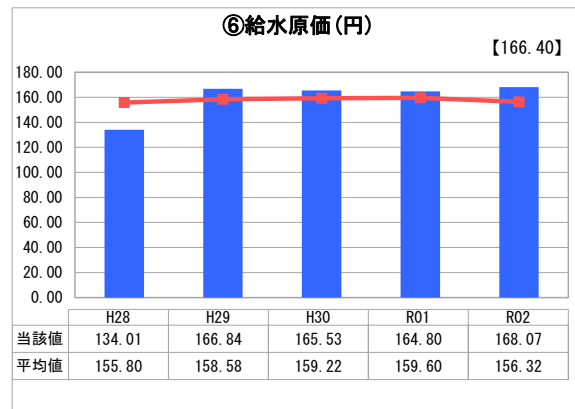
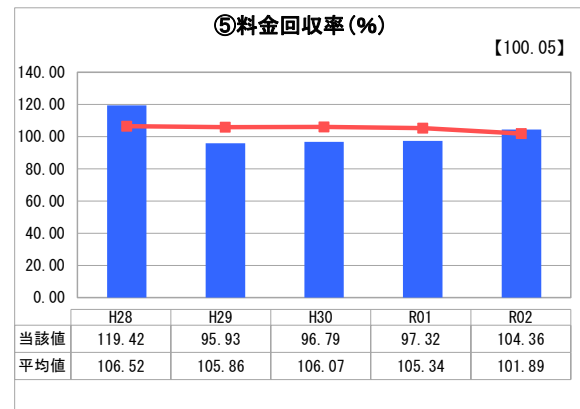
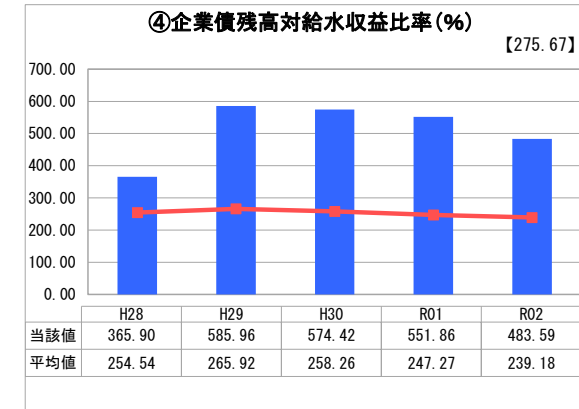
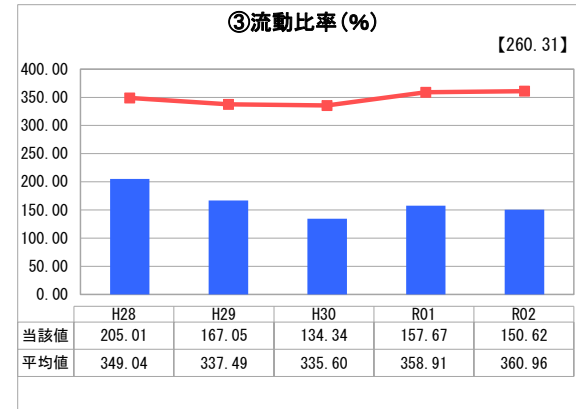
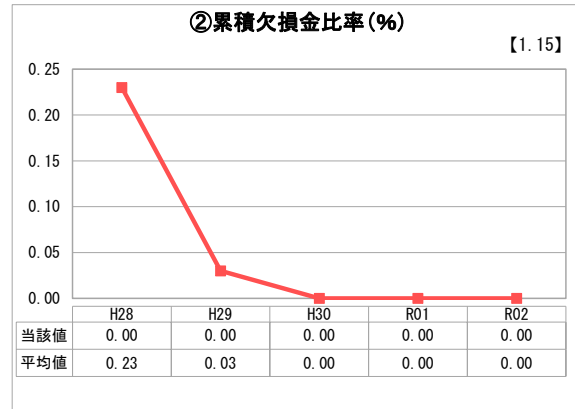
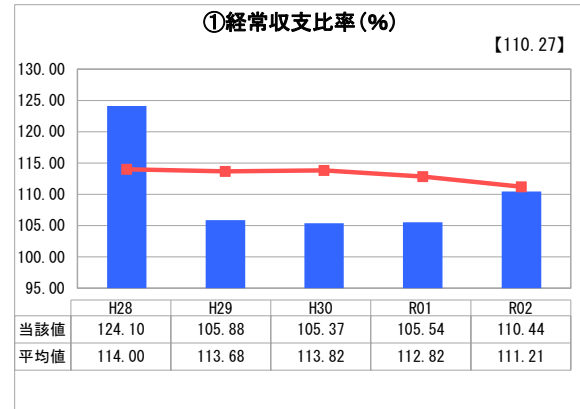
島根県 出雲市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A3	自治体職員
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	64.95	81.92	3,330	

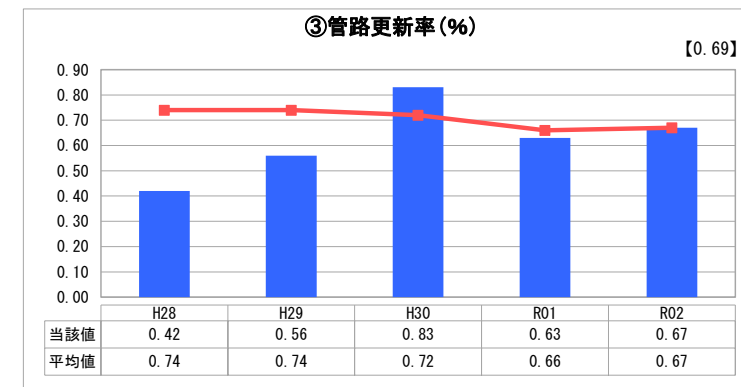
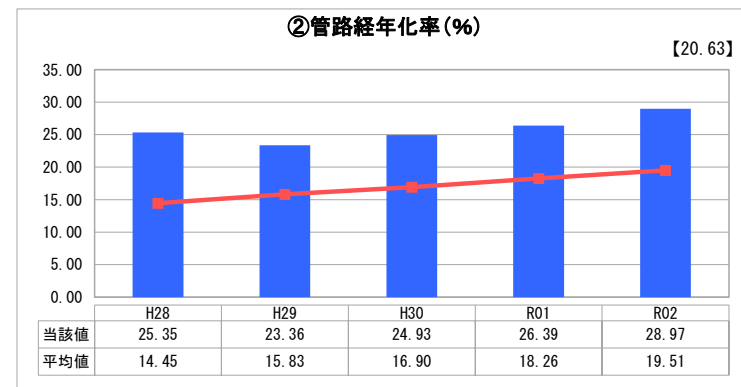
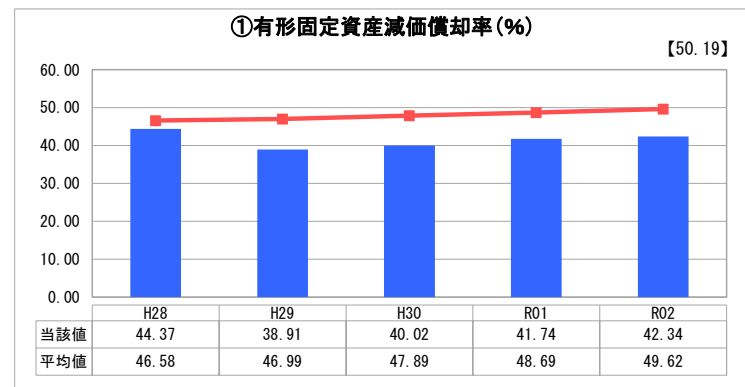
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
174,684	624.36	279.78
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
143,116	236.48	605.19

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①令和2年4月の料金改定により料金収入が増加したため、前年度より高くなり、類似団体と同水準となっている。
 ②欠損金なし。
 ③受託工事の影響による流動資産の減少及び流動負債の増加から、前年度より低くなり、類似団体を下回っている。
 ④企業債残高の減少及び給水収益の増加により、前年度より低くなったが、類似団体を上回っている。
 ⑤給水原価の増加に比べ、供給単価の増加が上回ったため、前年度より高くなり、類似団体を上回っている。
 ⑥有収水量の増加に比べ、費用の増加が上回ったため、前年度より高くなり、類似団体を上回っている。
 ⑦一日平均配水量は微増であったが、配水池の廃止により効率化が図られたため、前年度より高くなり、類似団体を上回っている。
 ⑧有収水量が増加したため、前年度より高くなり、類似団体を上回っている。

2. 老朽化の状況について

①償却対象資産の帳簿原価、減価償却累計額ともに増加したが、帳簿原価の増加に比べ、減価償却累計額の増加が多かったため、前年度より高くなったが、類似団体を下回っている。
 ②計画的に管路更新を進めているが、基幹管路の整備を推進した影響もあり、法定耐用年数を超過した管路延長が増加したことから、前年度より高くなり、類似団体を上回っている。
 ③計画的な管路更新により、更新した管路延長が増加したため、前年度より高くなり、類似団体と同水準となっている。

全体総括

経営状況については、有収水量の増加や料金収入の増加から、多くの指標で改善・向上が見られたが、類似団体に比べ、流動比率は低く、企業債残高対給水収益比率は高くなっている。
 老朽化の状況については、類似団体に比べ、有形固定資産減価償却率は低いが、管路経年化率は高くなっており、今後も管路の更新需要が一層高まる見込みである。
 このような経営状況の中、令和2年4月に水道料金の改定を実施し、収入の確保により経営の安定化を図るとともに、「出雲市水道事業ビジョン」に基づいた計画的な施設の更新と耐震化の取組を推進している。